目的

- ① コロナ禍でのレジリエンスの重要性や、子どものレジリエンスを向上させる保護者や園の関わり方についての示唆を得る
- ② アジア8か国での比較を通して、日本の子どもや子育ての特徴を捉えるとともに、日本の子育て課題をあぶり出す一助とする

内容

1. 調査研究概要
2. レジリエンスの重要性（ウェルビーイングとの関連）と子どものレジリエンスを育むためのカギ
3. アジア8か国比較を通して見える日本の子どもや子育ての特徴

Appendix：基本属性

本研究のカギとなる概念

= **レジリエンス**：困難な状況に適応して回復する力

1) レジリエンスの重要性と、子どものレジリエンスを育むためのカギ

●コロナ禍での子どものウェルビーイングにはレジリエンスの育成が重要

8か国共通で、子どものレジリエンスはウェルビーイングに関連していた

●子どものレジリエンス向上には、家庭（保護者）と園（保育者）の両輪でのサポートが重要

家庭や園において実践すると良い具体的な働きかけ項目も判明

2) アジア8か国比較を通して見える日本の子どもや子育ての特徴

●日本は他国と比べて、親の意識や日常生活面での5歳、7歳の違いが大きい

- ・数や文字を学ぶこと：5歳母は重視しない⇒7歳母は重視
- ・園/学校による保護者サポート：5歳（園）はある⇒7歳（学校）は他国より少ない
- ・遊び相手としての親：5歳ではよく遊ぶ⇒7歳ではあまり遊ばない
- ・デジタルメディア学習使用：5歳で少ない⇒7歳で使用率は上がるが他国よりは少ない
- ・習い事：5歳で少ない方⇒7歳で多い方

●日本についてのその他の結果

- ・「友だちと一緒に遊ぶ」「伝統や文化を大切にすること」を、他国ほど重視しない
- ・平日の「屋外で遊ぶ時間」「家庭学習の時間」「家庭でのスマホやタブレットの視聴・使用時間」が、他国より短い
- ・デジタルメディアを多用途で使わない。またデジタルメディア使用時の親の関わりが、他国と比べて少ない傾向